

考えよう

動作から見る 水まわりのポイント



トイレ



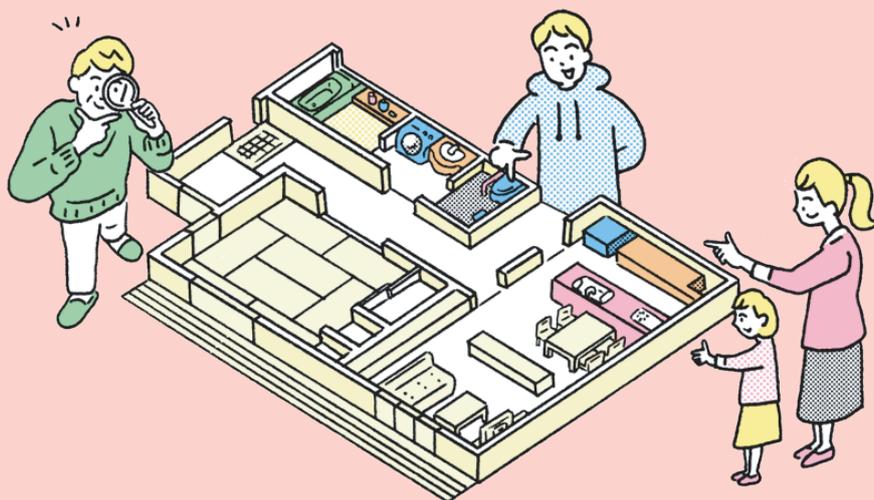
浴室



洗面所



キッチン



今も、この先もずっと。

快適・安心な暮らしのために。

我が家の時間をもっと楽しむために。

住まいの水まわりは、今はもちろん、
将来の生活も考えておくことが大切です。

年齢や身体状況が変化しても、
ずっと快適な生活を続けられる住まいへ。
今から考えておきたい水まわりの考え方や
配慮ポイントをご紹介します。

水まわりの基本的な考え方



毎日必ず利用する大切な場所だからこそ、快適と安全への配慮を。

昼、夜を問わず、頻繁に利用するトイレ。生活していく中で大切な排せつを行う空間だからこそ、快適性ととも、長く使い続けるため安全に配慮しておくと安心です。

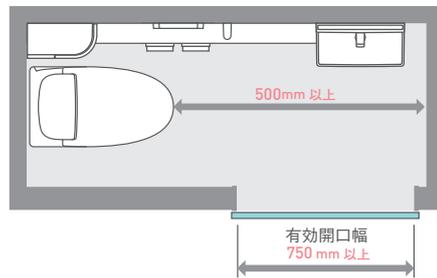
01 基本的な考え方

■トイレスペース

- 便器への立ち座りに配慮して、便器前スペースは500mm以上確保します。
- 600mm以上のスペースがあれば、身繕いがしやすくおすすめです。

■出入り口有効開口幅

- 750mm以上確保します。



02 快適・安心のポイント

トイレの商品ホームページはこちら!

照明

- 十分な明るさを確保します。
- 夜間の使用でまぶしくない配慮が必要です。

手すり

- 手すりや棚を設置します。
- 手すりやひじ置きにも使え、しっかりサポートできるカウンターを設置します。



収納

- トイレ内の収納は、手の届きやすさを考えて設置位置を決めます。

コーナー収納キャビネット



便座

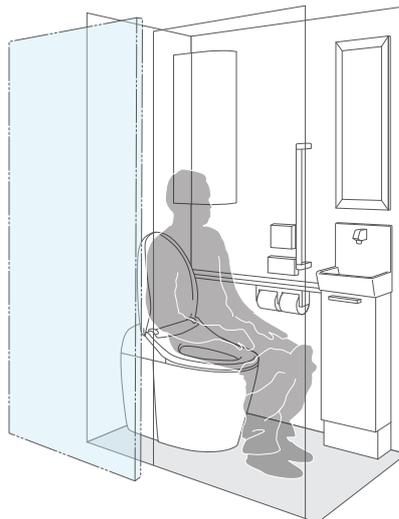
- 暖房便座やおしり洗浄機能が付いた便座で、リモコン操作もできるものを選びます。



リモコン



アプリコット



手洗器

- 手洗器はラクな姿勢で使える位置に設置します。
- 電気温水器を設置します。



レストルームドレッサー

レストバルフ

紙巻器

- 片手でセットでき、片手でも簡単に切れる紙巻器を設置します。
- 手をつけて身体を支えられる耐荷重のあるものを選びます。



棚付二連紙巻器

便器

- コンパクトな腰掛便器を設置します。
- リモコン便器洗浄やオート便器洗浄ができるタイプを選定します。
- 少ない水量で便器洗浄でき、汚れが付きにくく、掃除がしやすい便器を設置します。



ネオレストLS



ネオレストAS



ネオレストRS

温熱環境

- 暖房器具を設置します。
- 窓がある場合は断熱窓にします。

出入り口

- 出入り口の段差をなくします。
- 引戸を設置します。

床材

- 床材は掃除がしやすいものを選びます。

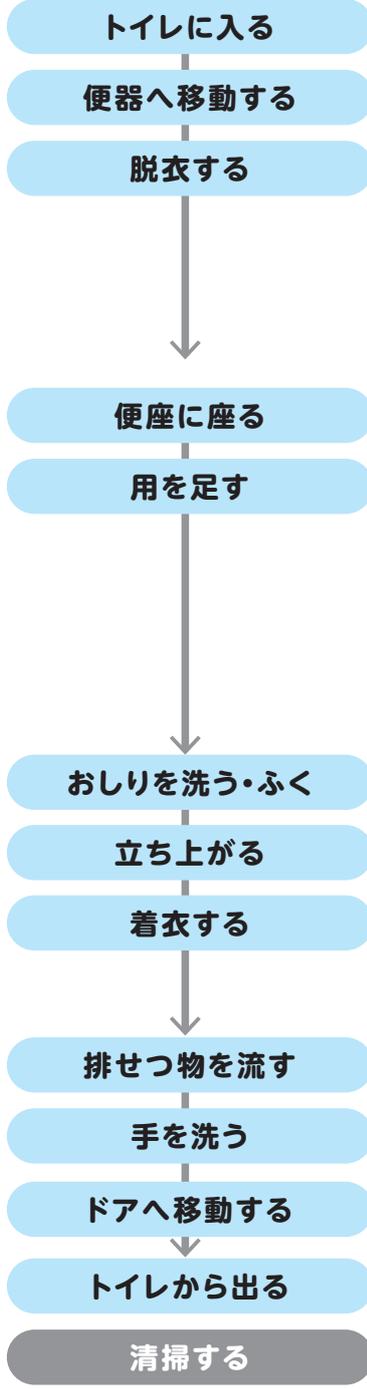


ハイドロセラ・トイレフロアJシリーズ

※図面・イラストはイメージです。実際の商品とは異なります。

水まわりの基本的な考え方

03 動作フローから考える設計のポイント



出入り口

出入り口の段差をなくします
つまずきの原因となる段差はなくします。出入り口の段差がないと、掃除用具も取り回しやすく掃除しやすくなります。

有効開口幅は750mm以上確保します
小さな子どもと一緒にラクに入ることができます。

出入り口は長辺側に設置します
長辺側にドアを設置することで、有効開口幅を広く確保でき、便器まわりの掃除がラクになります。また、扉を開けることで、小さな子どものトイレトレーニングに寄り添えるスペースを確保できます。

床材
床は滑りにくい素材を選びます
転倒につながらないように、滑りにくい床材を選定します。

トイレスペース

便器前スペースは500mm以上確保します
便器への立ち座りの際は前かがみになるため、便器前のスペースが500mm以上必要です。身繕いなどを考えると600mm以上のスペースの確保をおすすめします。

便器
前出寸法が短い腰掛便器を選定します
限られた空間を有効活用するため、タンクレストイレがおすすめです。便器前スペースがより広く確保できます。

手すり

手すりや棚、アームレストを設置します
便器への立ち座りサポートとして使えます。棚（カウンター）は物を置くだけでなく、身体を支えることができます。さらに、アームレストとあわせると、リラックスした姿勢で座れます。

便器（洗浄タイプ）

リモコン便器洗浄タイプやオート便器洗浄タイプを選定します
身体の方角転換を減らしスムーズに動作ができます。

便座

温水洗浄便座を設置します
おしりを清潔に保つことで快適です。

リモコンで操作できるものを選定します
使いやすい位置で操作できます。

紙巻器

片手でペーパーセット、カットができる紙巻器を設置します
片手で簡単にペーパーをセット、カットできラクに使用できます。

手洗器

ラクな姿勢で使える位置に設置します
手洗器を別に設置しておくことと振り返ることなくスムーズな動作で手洗器に近づき、ラクな姿勢で手洗いできます。小さな子どもでも無理なく手洗器に近づけるので、ラクに手洗いです。

タンク上手洗器の場合 別置き手洗器の場合

収納する

便器・便座

汚れが付きにくい便器・便座を選定します
汚れが付きにくく落ちやすい便器や、汚れをはじく便器ならお手入れがラクにできます。さらに使うたびに除菌することで、キレイが長く続き快適です。

汚れやすいフチをなくした便器を選定します
汚れやすくお手入れしづらいフチをなくした便器なら、覗き込むことなく汚れ落ちを確認しながらお掃除できます。

掃除がしやすい便器・便座を選定します
便器や便座の段差やすき間を抑えたデザインだと、凹凸が少ないので、汚れやほこりがたまりにくく、ラクにお掃除できます。

便器内の掃除 便器まわりの掃除

収納

トイレ内に収納を設置します
トイレットペーパーや掃除道具を収納にしまうことで、すっきりとした空間になります。また、トイレで使用する物をトイレ内に収納することで、ムダな動線が軽減し家事の効率化につながります。

※ 図面・イラストはイメージです。実際の商品とは異なります。

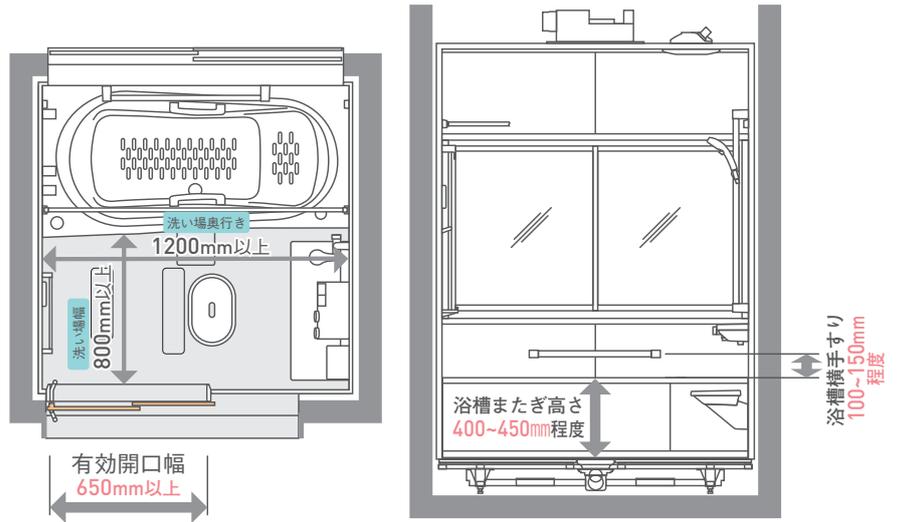


快適で、リラックスできる空間を作りましょう。

浴室は快適性が求められる空間です。毎日のお掃除が簡単になるユニットバスを選ぶことで、お掃除の負担が軽減され、ゆったりとくつろげるバスタイムをお過ごしいただけます。リラックスできる空間がおすすめです。

01 基本的な考え方

- 浴室スペース**
 - 戸建1坪(1616サイズ)程度、マンション0.75坪(1216サイズ)程度とします。
- 洗い場スペース**
 - 風呂いすに腰掛けて身体を洗えるように、洗い場は幅800mm以上、奥行き1200mm以上確保します。
- 出入り口有効開口幅**
 - 650mm以上確保します。



02 快適・安心のポイント

浴室の商品ホームページはこちら! ▶

システムバスルーム

- 断熱性の高いシステムバスルームを設置します。
- 汚れが付きにくく、掃除がしやすい器具設置します。

戸建向けシステムバスルーム

シラHKシリーズ
※写真はDタイプ

マンションモデルバスルーム

ひろがるWYほっカラリ床シリーズ
※写真はPタイプ

ふろふた

- 軽いふろふたを選定します。

ラクかるふろふた

浴槽

- またぎ高さが400~450mm程度で、浴槽内での滑り防止に配慮した浴槽を選定します。
- 湯が冷めにくい高断熱浴槽を選定します。

※ 図はイメージです。実際の仕様とは異なります。また、取り付ける器具によって浴槽断熱材の形状が異なり、浴槽の一部が浴槽断熱材に覆われていない仕様となる場合があります。

魔法びん浴槽

手すり

- 浴槽またぎ用、浴槽内立ち座り用手すりを設置します。

コンフォートシャワーバー (手すり兼用)

床材

- 滑りにくく、冬でもヒヤッとしにくい床材を選定します。

お掃除ラクラクほっカラリ床

入浴準備

- スマートフォンやスマートスピーカーから遠隔操作できる機能を選定します。

つながる快適セット

掃除
[床ワイパー洗浄(きれい除菌水)/おそうじ浴槽]

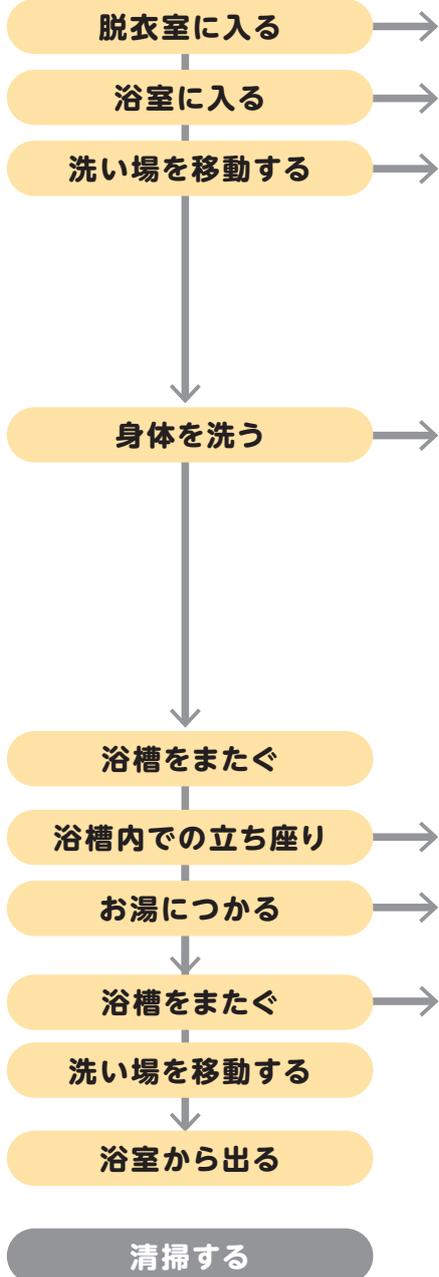
暖房
[三乾王・暖房換気扇/洗面所暖房機]

お湯はり*
※対応可能なメーカー・機種の場合は給湯機が必須となります。

※ 図面・イラストはイメージです。実際の商品とは異なります。

水まわりの基本的な考え方

03 動作フローから考える設計のポイント



温熱環境

温度差をなくします
脱衣室や浴室は、リビングなどと温度差をなくすため、断熱窓や暖房器具を設置し、ヒートショックに配慮します。
(ヒートショックとは)入浴中に亡くなる方の要因のひとつであるヒートショックは急激な温度変化で血圧が大きく変動することなどによって起こります。
出典：地方独立行政法人東京健康長寿医療センター研究所

床材

滑りにくく、冬場でもヒヤッとしない床材にします
転倒につながらないように、水はけが良く滑りにくい床材がおすすめです。冬場でもヒヤッとしない床材なら、快適に入浴できます。

柔らかい床材にします
心地よい足ざわりで、気持ちよく入浴できます。万一転倒した場合も、衝撃を和らげることができます。

出入り口

出入り口の段差をなくします
つまづかないように、出入口の段差をなくします。

有効開口幅は650mm以上確保します
ゆとりをもって出入りができるように、有効開口幅は650mm以上確保します。

カウンター(洗面器置台)/水栓金具

洗面器を置く台を設置します
風呂いすに座ったときに、ラクな姿勢で顔や身体を洗うことができます。ベンチカウンタータイプの場合、洗面器置台としてベンチカウンターを使用できます。

水栓金具は手が届きやすい高さに設置します
立っても座っても水栓に手が届きやすい高さ700mm程度にすることで、ラクに水栓を操作できます。

カウンターがない場合

カウンターを付けた場合

座面高さの-50~+100mm程度の位置にカウンター(洗面器置台)を設置します。

浴槽

浴槽のまたぎ高さは400~450mm程度にします
浴槽フチへの足の引っかかりや身体のバランスを崩しにくくなり、安定した姿勢でまたぐことができます。

浴槽の深さは500~550mm程度にします
洗い場と浴槽底の段差を少なくすることで、大人も子どももより安定した姿勢でラクにまたぐことができます。また、胸のあたりまでゆったりつかれます。

浴槽フチは掴みやすい形状にします
浴槽フチをしっかり掴むことで、立ち座りやまたぎ動作が安定します。

手すり

立ち座り用手すりを設置します
浴槽長辺側の壁に手すりを設置することで、浴槽内での立ち座りの手がかりになります。

浴槽内にハンドグリップを設置します
気持ちの良い姿勢でゆったり入浴できます。

スライドハンガー付き手すりを設置します
シャワーをお好みの高さに調節でき、浴槽をまたぐ際にも使えます。

<h3>浴槽</h3> <p>汚れ落ちがスムーズな浴槽を選定します</p> <p>汚れ落ちがスムーズな浴槽なら、ラクにお掃除できます。さらに、浴槽を自動で洗浄するタイプなら、毎日のお掃除の負担を軽減します。</p>	<h3>床・排水口</h3> <p>水はけが良く、お手入れしやすい床や排水口を選定します</p> <p>水はけがよく乾きやすい床はカビにくくなります。排水口は、髪の毛が絡みにくい構造や、抗菌・防カビ仕様であれば、ぬめりやカビの汚れの増殖を抑えられます。さらに床を自動で洗浄するタイプならキレイが続きます。</p>	<h3>カウンター</h3> <p>カウンターはお手入れしやすいものを選定します</p> <p>壁や浴槽と離れているカウンターなら、汚れがたまりにくく、カウンターの奥やサイドに手が入るので簡単にお手入れできます。</p>	<h3>鏡</h3> <p>汚れが落としやすい鏡を選定します</p> <p>お掃除に配慮した水あかのこびり付きを抑える鏡なら、簡単なお手入れで水あかをラクに落とせます。</p>	<h3>ドア</h3> <p>汚れが付きにくく掃除しやすいドアを選定します</p> <p>ドア縁のパッキンなし、換気口のドア上部設置など、お掃除に配慮したドアなら、ほこりやカビが付きにくく、お掃除がラクです。</p>
---	--	--	--	--

※ 図面・イラストはイメージです。実際の商品とは異なります。



多目的に使われる場所なので、それぞれの行為をしやすくする配慮を。

洗面所は手洗い、洗面、脱衣などのほか、ユーティリティとしても使われるため、多様な機能が求められるスペースです。今の生活での家族みんなの使いやすさはもちろん、動線の良さや安全性にも配慮しておくことで安心です。

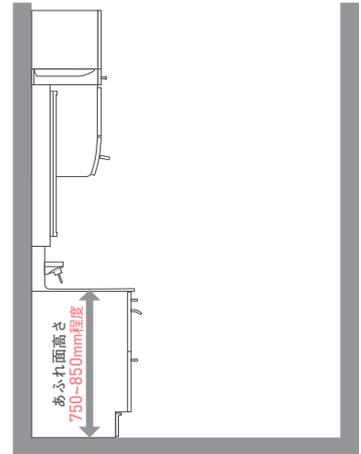
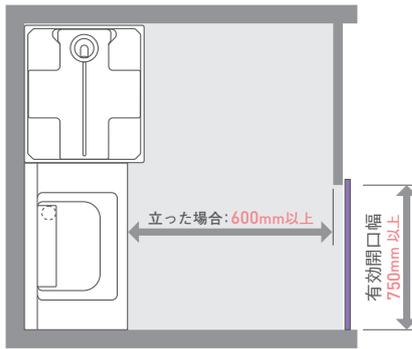
01 基本的な考え方

■洗面所スペース

- 立った姿勢で洗面行為や着脱衣がラクにできるよう洗面化粧台前スペースは**600mm以上**確保します。
- 脱衣室と兼ねる場合は、着脱衣行為への配慮として1坪程度確保することが理想的です。

■出入り口有効開口幅

- 750mm以上**確保します。



02 快適・安心のポイント

洗面所の商品ホームページはこちら!

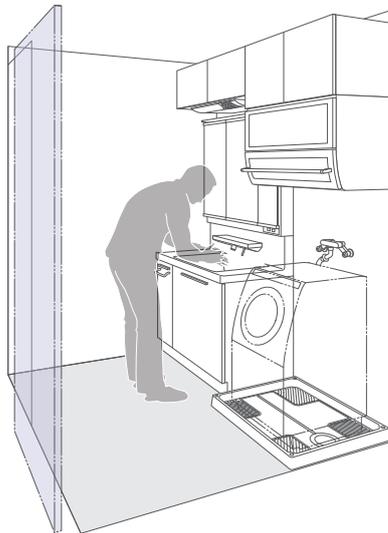
洗面化粧台

- 洗面器は、多目的に使えるポウルにします。
- あふれ面は、使用者の使いやすい高さ(750~850mm)にします。
- 汚れが付きにくく、掃除がしやすい器具を設置します。



照明

- 十分な明るさを確保します。



鏡

- 鏡を前に引き出せるタイプを選びます。



水栓金具

- 使い方がわかりやすく、簡単に操作できる水栓金具を選定します。
- 汚れた手や泡の付いた手でもハンドルを汚さずに使用できる自動水栓を選定します。
- ハンドシャワー式を選定します。



温熱環境

- 脱衣時の寒さに配慮して暖房器具を設置します。
- 窓は断熱窓とします。



出入り口

- 出入り口の段差をなくします。引戸を設置します。

床材

- 床材は掃除がしやすいものにします。

収納

- できるだけ十分な収納量を確保します。
- 手の届きやすい位置に設置します。



- 菌を除菌し、汚れを抑制する「きれい除菌水」を選定します。



水まわりの基本的な考え方

03 動作フローから考える設計のポイント

洗面所に入る



温熱環境

温度差をなくします

リビングなどと温度差をなくすため、断熱窓や暖房器具を設置し、不快な温度変化を感じることなく気持ちよく洗面や脱衣を行える環境にします。

出入り口

出入り口の段差をなくします

小さな子どもがつまづかないように、出入り口の段差をなくします。出入り口の段差がないと掃除用具が取り回しやすく、掃除がしやすくなります。

有効開口幅を750mm以上確保します

小さな子どもを連れて洗面所に入るときや洗濯ものを抱えているときなどの出入りがラクにできます。また、掃除の際に掃除機などもラクに取り回せます。

引戸を設置します

扉の軌跡を気にせず開閉でき、スムーズに出入りできます。また、戸を開けたままにできるので、光が入って明るく、風通しも良くなります。

洗面行為をする

洗面所スペース

洗面化粧台前スペースは600mm以上確保します

十分なスペースがあると、前かがみになっても頭やおしりをぶつけることなくラクに洗顔できます。

洗面化粧台

あふれ面の高さは使用者の使いやすい位置にします

あふれ面高さの目安

身長	あふれ面高さ
155	75
165	80

いすに腰掛けて身繕いできるタイプを選定します

歯磨きやスキンケアなど時間がかかる行為もラクな姿勢でゆったりできます。

水栓金具

操作しやすいシングル混合水栓にします

湯水の切り替えがわかる水栓を選ぶと、洗面や手洗いのときの温度調節が簡単になります。

自動水栓にします

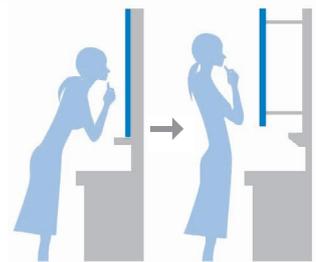
自動水栓にすると汚れた手や泡の付いた手でもハンドルを汚さずに使用できます。



鏡

前に引き出せるタイプを選定します

鏡を手前に引き出せると、ラクな姿勢で身だしなみを整えられます。



洗面所から出る

清掃する

排水口

汚れがたまりにくい排水口を選定します

抗菌・防カビ効果のある排水口と除菌機能付きの水栓をあわせて使うとキレイが長持ちします。



「きれい除菌水」



お掃除ラクラク排水口 (抗菌・防カビ仕様)

洗面ボウルと水栓

汚れが付きにくく、掃除がしやすいボウルを選定します

水が排水口に向かって自然に流れるボウルと引き出してすみずみまで流せるシャワー式水栓を組み合わせるとお掃除がラクになります。



すべり台ボウル



ハンドシャワー式

収納する

収納

収納量が十分なキャビネットを設置します

普段使用しない物は高い位置に、日常的に使用する小物やタオルは手の届きやすい位置に。洗面・入浴・化粧小物などのほか、洗濯、掃除用具の収納にも配慮します。

ラクな姿勢で出し入れできるように配慮します

引き出し式の収納なら、収納した物を上から見渡すことができ、取り出したい物の位置がすぐにわかります。洗剤などのストックの確認もラクなので、買い過ぎや買い忘れを防ぎます。

※ 図面・イラストはイメージです。実際の商品とは異なります。



作業の効率を高めるキッチンを選ぶことで 1日の時間にゆとりが持てます。

キッチンの商品ホームページはこちら! ▶

01 快適・安心のポイント

キッチンスペース

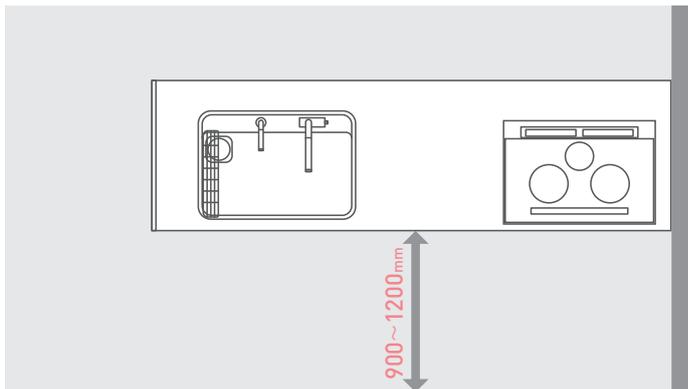
- カウンター前に900~1200mm程度のスペースを確保します。

照明

- 十分な明るさを確保するため、照明や採光に配慮します。

システムキッチン

- 効率的にキッチン作業ができる仕様を選定します。
- 汚れが付きにくく、掃除がしやすい器具を設置します。



ザ・クラツ

カウンター

- カウンターは作業がラクにできる高さのものを選定します。

食器洗い乾燥機

- 食器洗い乾燥機を設置します。



食器洗い乾燥機

シンク

- 広々使えるシンクを選定します。
- 排水口にごみがスムーズに流れるシンクを選定します。



スクエアすべり台シンク

収納

- 中の物が見やすく、出し入れしやすい収納を選定します。



フロアキャビネット

調理機器

- 安全で操作がわかりやすいものにします。



ガスコンロ

IHコンロ

水栓金具

- 吐水スペースが広く作業しやすいものを選定します。
- センサーに手をかざすだけで吐止水できる水栓を選定します。
- 引き出せる幅広シャワーを選定します。



タッチレス水ほうき水栓LF



アイレブルウォールキャビネット
※ アイレブルウォールキャビネットは周辺ユニット専用です。

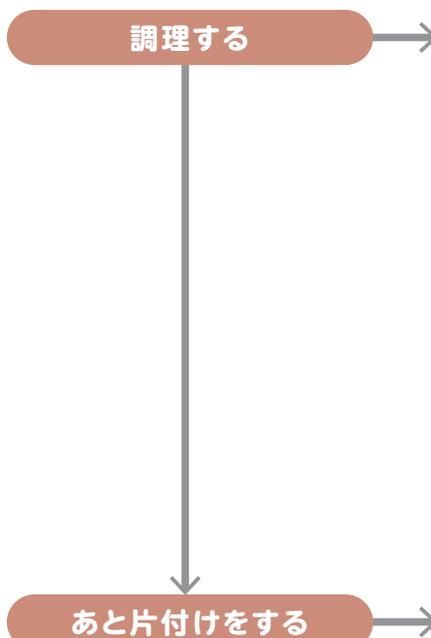
床材

- 滑りにくく、掃除がしやすいものを選定します。

※ 図面・イラストはイメージです。実際の商品とは異なります。

水まわりの基本的な考え方

02 動作フローから考える設計のポイント



キッチンスペース

カウンター前に900～1200mm程度のスペースを確保します

収納作業のためにかがみこんだり、二人で作業したりすることを考えた場合、余裕のあるスペースが必要です。

キッチン

使いやすい高さのものを選定します

使用者がラクに作業を行える高さを選定します。高さが合っていると調理や片付けがはかどり、時間にゆとりが生まれます。

作業のしやすいカウンター高さの目安

身長÷2+5cm

単位:cm

身長	カウンター高さ
150	80
160	85
170	90

キャビネット

使いたいものがサッと取り出せるキャビネットを選定します

引き出し式のキャビネットを選定すると、使用者が使いたいときにラクな姿勢や少ない動きで物が取り出せます。

開き戸の場合 引き出しの場合

調理機器

安全装置付きで、上面がフラットなものを選定します

万一の発火防止のため、安全センサー付きのガス調理機器やIH調理機器を選定します。上面がフラットだと、調理も掃除もしやすくなります。

シンク

広々使えるシンクを選定します

排水口が隅にあるシンクを選定すると、シンク内が広く使え、お皿やコップを洗うときに安心です。また、排水口に向かって傾斜があると、野菜くずなどのごみがスムーズに排水口へ流れるので、流し残しのストレスがありません。

排水口

ごみをためやすく、捨てやすい網かごを設置します

排水口にたまったごみの片付けが簡単にでき、衛生的です。

水栓金具

引き出せる幅広シャワーを選定します

幅広シャワーだとヘッドを伸ばすことで、シンク内側が手早く洗え手間がかからないので、節水につながります。

調理器具などの除菌や清潔に保てる仕様を選定します

まな板や包丁の除菌やふきんなど汚れを落としたあとに吹きかけるだけで清潔に保てる仕様なら、手間や時間をかけずにいつもきれいな道具で気持ちよく使えます。

食器洗い乾燥機

食器洗い乾燥機を設置します

食器洗い作業の効率化がはかれ、時間にゆとりができるよう食器洗い乾燥機を設置します。

清掃する

シンク

汚れが付きにくく、掃除がしやすいシンクを選定します

シンクはできるだけ凹凸のないタイプやシンクとカウンターが一体になっているタイプにすると掃除がラクにできます。また、野菜くずなどのごみがスムーズに排水口に流れるシンクなら、汚れがたまりにくくいつもきれいです。引き出して使えるハンドシャワーとあわせると、シンクのすみずみまでラクに流せて効率的に掃除ができます。

排水口

汚れがたまりにくい排水口を選定します

ごみがあまりやすい網かごなら、こまめにゴミを捨てることで排水口に汚れがたまりにくくなります。仕上げに除菌できる仕様なら、嫌なぬめりが抑え、網かごのキレイが長く保てて快適です。

換気フード

汚れが付きにくく、掃除がしやすいものを選定します

換気フードは汚れやすいのでお手入れがラクにできるものを選びます。特にノンフィルターやお手入れする部材が少ないものや、掃除が面倒なファンがワンタッチで着脱できると大掃除の手間は省けます。

収納する

収納

出し入れしやすい引き出し式の収納を選定します

引き出し式の収納なら、収納した物を上から見渡すことができ、取り出した物の位置がすぐにわかります。また、連動式の内引き出しタイプだと、引き出しを引けば、内引き出しも連動して手前へ引き出されるので、少ない動きで必要な物が取り出せます。

目線の高さに設置できるウォールキャビネットを選定します

目線の高さにキャビネットを設置すれば使いやすい位置に普段使いの食器などを収納でき、見やすく、取り出しやすく、出し入れに手を高く上げる必要がなくなります。昇降式タイプも有効です。

※ 図面・イラストはイメージです。実際の商品とは異なります。

年月を経てもそれぞれのライフステージで 快適に過ごせる住まいを。

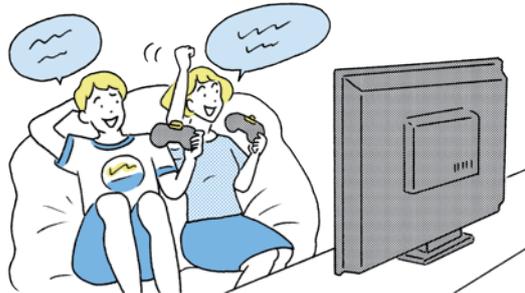
TOTOは、それぞれのライフステージに応じて、
UD視点で考えた住まいをご提案しています。



各住まいに合った
ご提案はこちら*

01 “二人の時間を楽しむ”住まい

家事は
二人で協力



平日は仕事で
忙しいから掃除は
休日まとめて
すませたい

**仕事で忙しくても、
二人の時間は楽しめる住まいに!**

02 “子どもと暮らす”住まい

子どもとの時間を
大切にしたいから
家事は効率的に
すませたい



子どもが安心して
過ごせる住まいに
したい

家事で忙しい毎日でも、子どもが成長する姿を見守れる住まいにしたい!

03 “こだわる大人の”住まい



ゆったりとした
時間を
過ごしたい

住まいの
お手入れには
手間を
かけたくない

**思い切り趣味を楽しみ、
疲れた時はくつろげる住まいにしたい!**

04 “親を思う”住まい

家の中で
事故が起きないように、
配慮しておきたい

昔に比べて
親の体調が
気掛かり



高齢になった両親が、この先も安心して暮らせる住まいにしたい!